

パネルディスカッション7

「消化器外科周術期の栄養療法」

司会 馬場 秀夫（熊本大学大学院消化器外科学）

小澤 壯治（多摩丘陵病院外科）

術前の低栄養状態は消化器外科術後の合併症のリスクを増加させるだけでなく、予後にも悪影響を及ぼすことが様々な疾患で報告されている。また、退院後の重度の体重減少も予後を悪化させる原因となる。周術期における栄養療法は消化器外科領域の治療成績向上のために必須であり、診療科、職種を越えた横断的な介入が求められる。本セッションでは各施設の最新の取り組みとそのアウトカム、解決すべき課題についてご討議いただきたい。